

草刈機トリマ

取扱説明書

AT-8

も く じ

ご使用になる前に

- はじめに 1
- 安全のために必ずお守りください 2
- 各部の名称とはたらき 4

ご使用にあたって

- 毎日作業前の点検 5
- 作業のしかた 6

知っておきたいこと

- 定期点検と調節 8
- 長期格納 10
- 不調の原因と処置 10

その他

- 仕様 10
- オプション 11
- 安全確認一覧表 12

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

■ 危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

⚠ 危険 …… 注意事項を守らないと、死亡又は重傷事故を引起します。

⚠ 警告 …… 注意事項を守らないと、重傷事故を引起することがあります。

⚠ 注意 …… 注意事項を守らないと、負傷事故を引起することがあります。

2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

重要 …… 注意事項を守らないと、機械の故障や損傷につながります。

■ ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる可能性がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



⚠ 警告

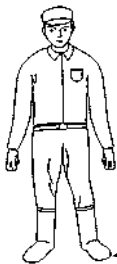
- 本機は草刈り用として設計されています。その他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

使用前にこの取扱説明書とエンジンの取扱説明書をよく読み、理解する

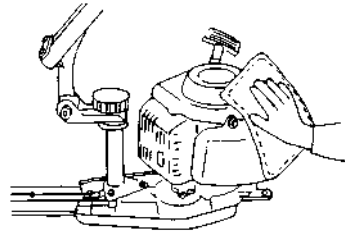
機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

作業に合った服装

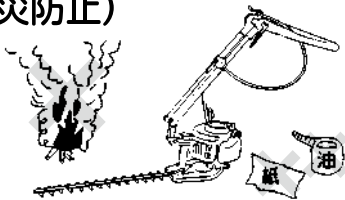


滑り止めのついた安全靴

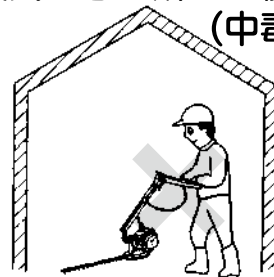
エンジンに附着したごみなどは常に取り除く（火災防止）



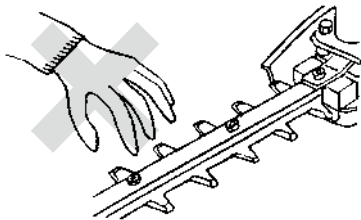
給油はエンジンを止めて、冷えてから、又周囲の火気厳禁（火災防止）



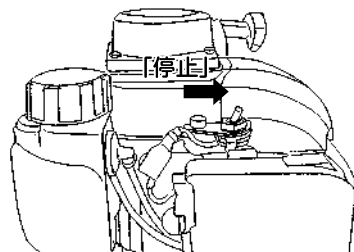
室内換気の悪い所では使用しない（中毒防止）



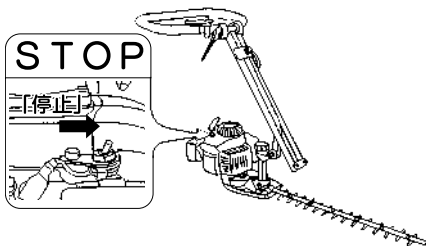
エンジン始動時、回転中は絶対に刈刃に触れない、人も近づけない



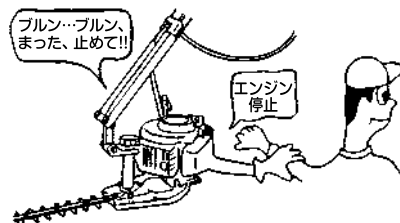
異状発生時はすぐにエンジン停止



点検はエンジンを停止してから

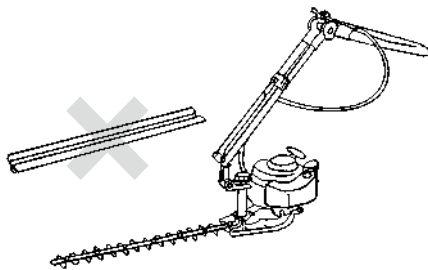


機械から離れる時はエンジン停止し、冷えてから

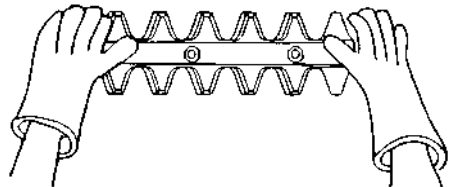


⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

移動・保管は刃カバーを取付けて



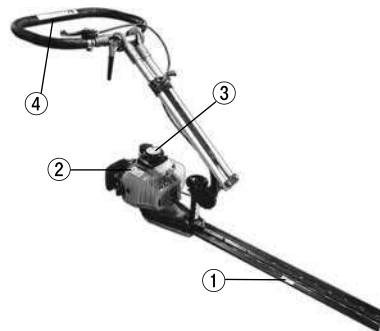
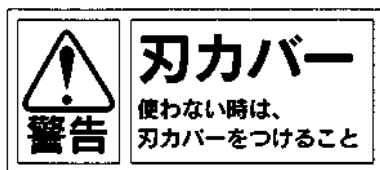
刈刃の点検・交換は厚手の革手袋着用



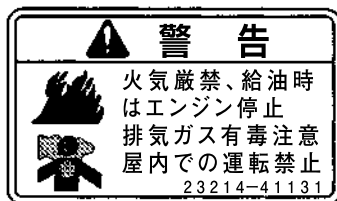
使用前に安全ラベルをよく読む

● 草刈機には次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。

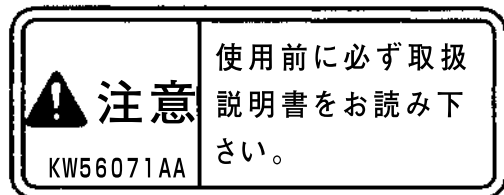
①品番 23213-3154-1



②品番 23214-4113-1



③品番 23214-2112-1



④品番 23213-4113-1

 危険		<ol style="list-style-type: none"> エンジン始動時、及び回転中は刈刃に絶対触れないこと。また周囲に人を絶対近づけないこと。刈刃によりケガをします。 点検整備時は必ずエンジンを停止すること。 機械から離れる時はエンジンを停止すること。 <p style="text-align: right;">23213-4113-1</p>
---------------	--	---

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シンナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルが貼付されている部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

各部の名称とはたらき

- スロットルレバー

エンジンの回転数を調節します。

- 回転レバー

ハンドルの回動位置を調節します。

- エンジンスイッチ

エンジンの始動・停止をします。

- リコイルスタータグリップ

エンジンを始動する時に引きます。

- ノブナット

ハンドルの前後角度を変えることができます。

- スライドレバー

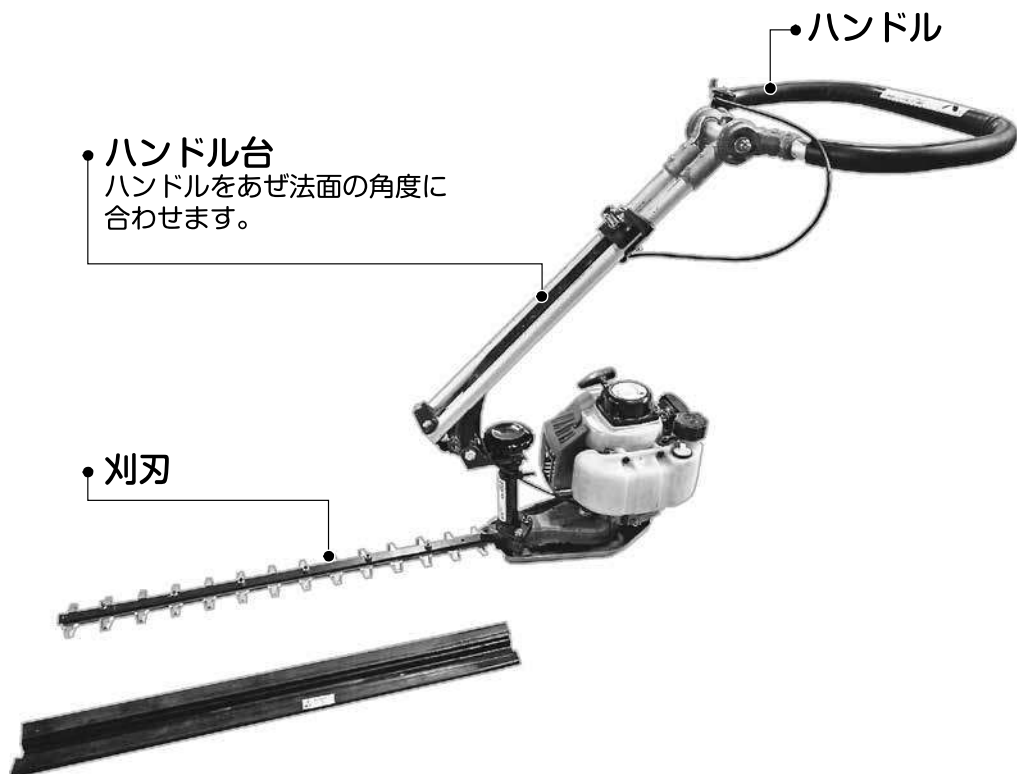
ハンドルの高さ調節をします。

- ノブナット

ハンドルの左右の向きを変えることができます。

- 刃カバー

刈刃を保護します。



毎日作業前の点検

⚠ 注意

- 点検作業は必ずエンジンを停止した状態で行なってください。

1. 燃料の点検

⚠ 警告

- 燃料の補給は必ずエンジンを停止し、完全に冷えてから行なってください。エンジンが熱い間はヤケドや火災の危険があります。
- 火気の近くやくわエタバコでの燃料補給は絶対にしないでください。火災や爆発の危険があります。

重要

- 燃料は、レギュラーガソリン50に対し、2サイクル専用FC級オイル1の混合比燃料を使用し、それ以外は使用しないでください。その他の燃料を使用しますとエンジンが故障します。

⚠ 注意

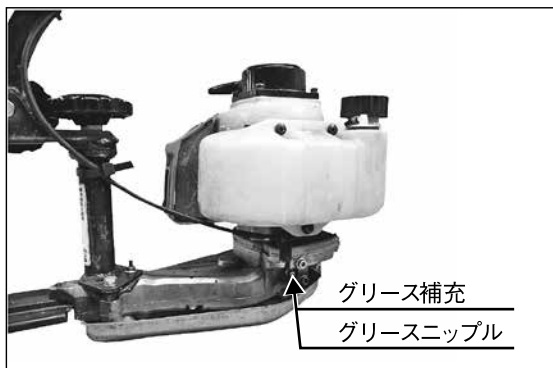
- 給油後キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいにふきとってください。

2. グリースの補充

毎日作業前又は、作業後にグリースをミッションケースに補充する。

■グリースはJISコロガリ軸受けグリース3種3号相当品を使用してください。

グリースポンプが無いときは、グリースニップルを外し、グリースチューブで補充してください。



重要

- ミッションケースにグリースを補充しないと内部の部品が摩耗して破損します。

3. エンジンの掃除

エンジンの周辺のごみ、ほこりなどは毎日作業前にきれいに取除いてください。

⚠ 注意

- エンジンの高温部にごみ、ほこりなどがあると火災の原因となります。
- エンジンの冷却風の通路がごみなどでふさがれると、加熱して火災の原因となります。

作業のしかた

⚠ 危険

- エンジン始動時、および回転中は刈刃に絶対に触れないでください。また周囲に人を絶対近づけないでください。刈刃により大ケガをします。

⚠ 注意

- この機械は作業灯がついていませんので暗くなってから、機械は使用しないでください。
- 機械を離れるときはエンジンを停止し冷えるまで待ってからにしてください。
- エンジン回転中と停止後10分位はエンジンに触れないでください。ヤケドをします。

1. エンジンの始動

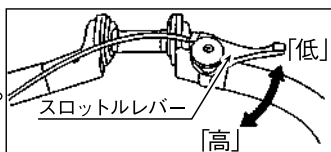
⚠ 警告

- 密閉した場所、通気性の悪い所では絶対にエンジンを始動させないでください。排気ガスが充満して中毒死するおそれがあります。

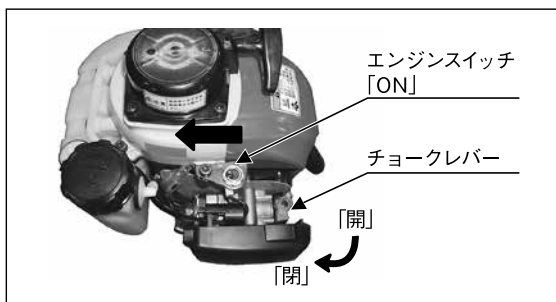
⚠ 注意

- エンジン始動時、刈刃が動きます。必ず周囲の安全を確認してから始動してください。

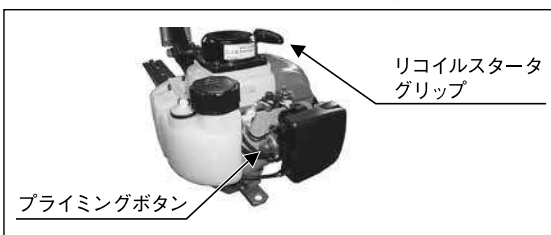
- ① スロットルレバーを「低」の位置にする。



- ② エンジンスイッチを「ON」側にする。
- ③ チョークレバーを「閉」位置にする。
エンジンが暖まっているときは、チョークレバーの操作は不要です。



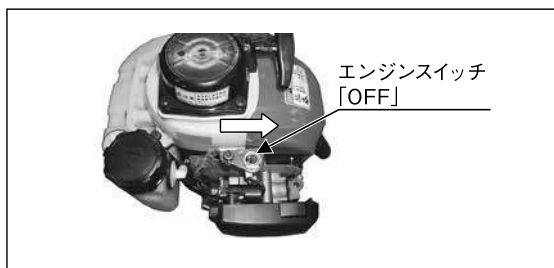
- ④ プライミング操作を行なう。オーバーフローチューブから燃料があふれ出るまでプライミングボタンを10回以上押す。



- ⑤ 本機を押さえ、リコイルスタータグリップを引きエンジンを始動させる。
- ⑥ エンジンが始動したら、チョークレバーを「開」にする。
スロットルレバーを少し「高」側にすると、チョークレバーは自動的に「開」位置に戻ります。
- ⑦ エンジン始動後、スロットルレバーを「低」位置にして、2～3分暖機運転する。

2. エンジンの停止

- ① スロットルレバーを「低」にする。
- ② エンジンスイッチを「OFF」側にする。



3. あぜ草刈り作業

⚠ 注意

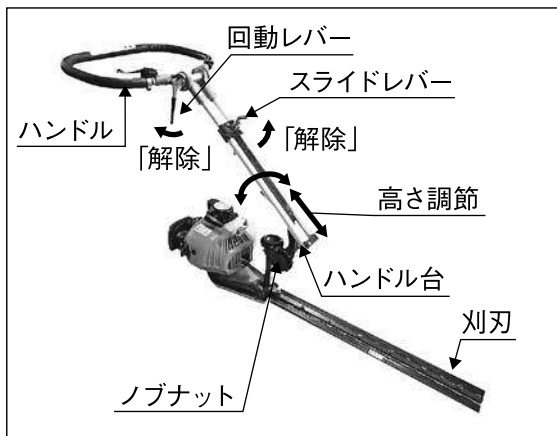
- 作業するときは、足の近くに刈刃があり危険です。ケガをしないようじゅうぶん注意して行なってください。安全靴の使用をお勧めします。
- 作業する場所は障害物などの危険がないか調べてから作業してください。危険な場所での作業は絶対に行なわないでください。
- 刈刃に石、異物などがかんだりした場合は、必ずエンジンを停止してから取除いてください。
- 作業中は、周囲に人を近づけないでください。特にお子さんに注意してください。
- 振動と騒音がありますので1時間以上の連続作業は行なわないでください。

① 刈刃があぜ法面に合うように、ノブナットをゆるめ、ハンドル台を動かす。

重要

- ハンドル台を動かすときは刈刃を踏んだり無理に湾曲させますと、刈刃が曲がり部品が破損することもあります。

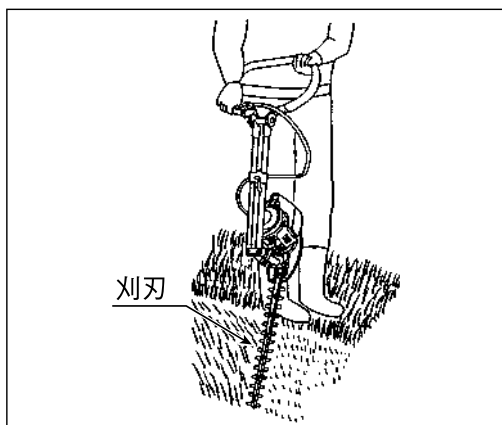
- ② スライドレバーを解除し高さを調節する。
③ 回転レバーを解除しハンドルの角度を調節する。



⚠ 注意

- レバー類は確実にロックしてください。
- ゆるめたノブナットは確実に締付けてください。
- 後向きに作業する場合、必ず足場を確認し、じゅうぶんに注意して行なってください。

■ ハンドルを腕と体ではさみこむと作業が楽にできます。



重要

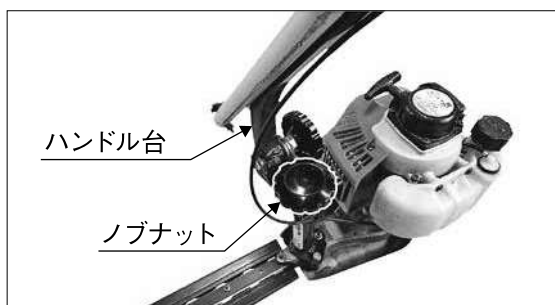
- 刈刃は地面に軽く接触させる程度で使用してください。地面に刈刃を押しつけて刃を湾曲させて使用しますと、機械の耐久性が低下します。

4. 平面草刈り作業

- ① ノブナットをゆるめハンドル全体を回転する。
② ハンドル台を傾け刈刃が足に当たらないようにする。

⚠ 注意

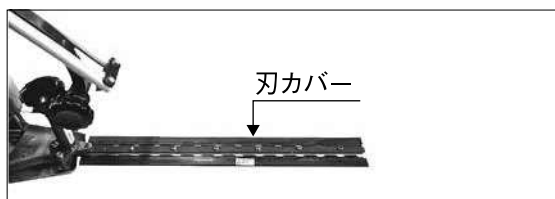
- ゆるめたノブナットは確実に締付けてください。



5. 移動

⚠ 注意

- 機械を移動したり、使用しないときは必ず刃カバーを取付けてください。



定期点検と調節

⚠ 注意

- 点検・調節は必ずエンジンを停止してから行ってください。
- 外したカバーは、もとどおりに組付け、ボルト・ナットは確実に締付けてください。

1. 点検・調節一覧表

項目	参照ページ	点検・調節時間
刈刃のすき間	P8	10時間ごと調節
Eアクリーナ	P9	20時間ごと清掃

2. 刈刃のすきま調節・研磨・交換

⚠ 注意

- 刃の点検・調節・研磨・交換は厚手の革手袋を着用して行ってください。鋭利な刃先で、ケガをすることがあります。
- ボルト・ナットは、確実に締付けてください。

重要

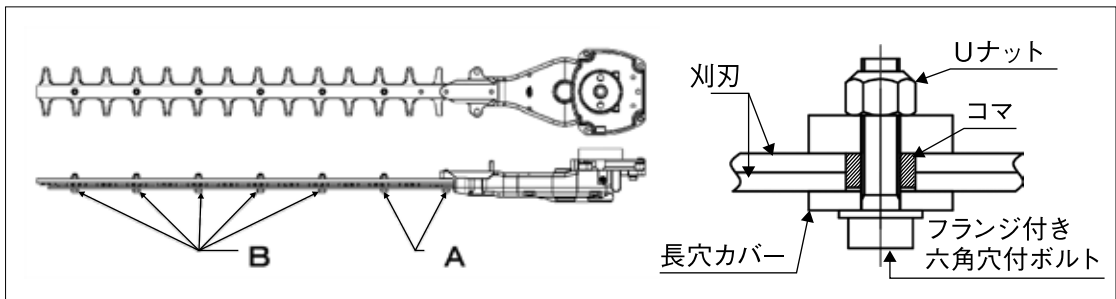
- 刈刃のすき間が広いまま、又は刃先が摩耗したまま使用しますと、作業性が悪いだけでなく機械にも悪影響を与えます。

■刈刃のすき間調節

重要

- 刈刃についた泥や草のしぶはブラシ等できれいに取ってください。
泥や草のしぶがついていると、適正なすき間調節ができないことがあります。

- ①図のA部フランジ付き六角穴付ボルトとコマを締め切る。
- ②図のB部フランジ付き六角穴付ボルトとコマを締め切った後、1/2～1回転（180°～360°）戻す。
- ③ボルトを固定しながらM5のUナットで締め付ける。



重要

- 刃物が摩耗し、コマの厚さより薄くなるとすき間の調節ができません。
刃物合わせ面の平面研磨は行なわないでください。

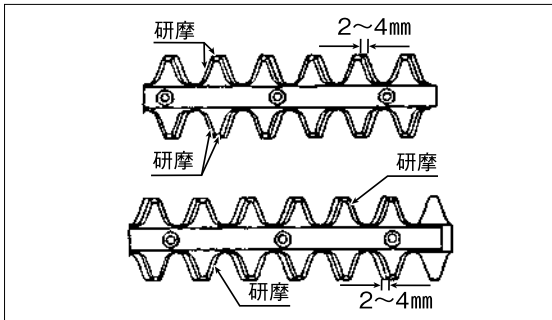
■ 刈刃の研磨

⚠ 注意

- 研磨時は火花が飛びます。必ず保護メガネを着用し、周囲の人・物に注意して安全に行なってください。

重要

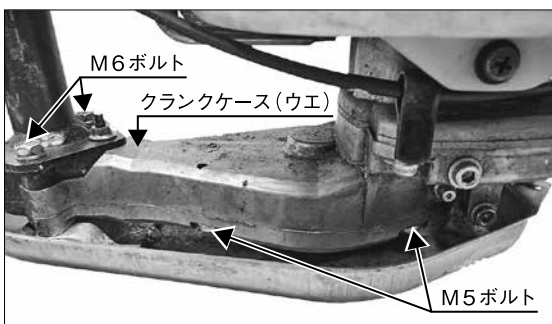
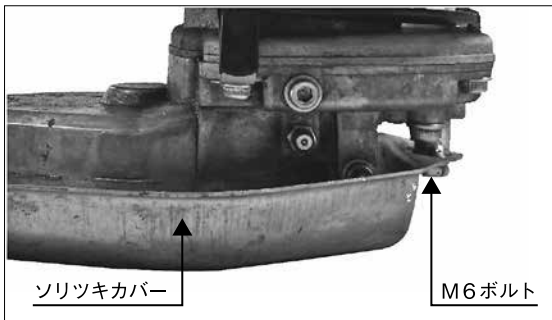
- 刃先が焼けないように注意してください。
- ① トリマ本体を動かさないよう固定する。
 - ② 刈刃を上下2～4mmずらす。
 - ③ ディスクグラインダで刃傾斜部を研磨する。(砥石は120番を使用する。)
 - ④ 刈刃を逆方向に2～4mmずらし、同様に研磨する。



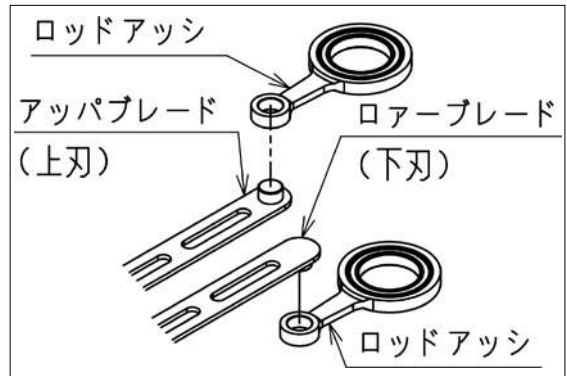
■ 刈刃の交換

刃先が摩耗し細くなって研磨できない刃物、刃先が開いてすき間調節のできない刃物、刃が折れている刃物は交換してください。

- ① M6ボルトを外し、ソリツキカバーを外す。
- ② M5ボルトを外し、クランクケース(ウエ)、フェルトを外す。



- ロッドアッシは組付け方向に注意して、組付けてください。

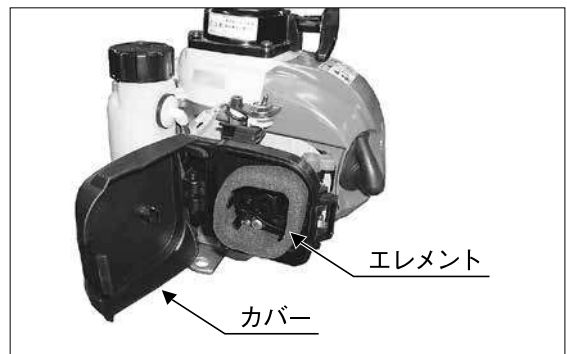


3. エアクリーナの清掃

- ① カバーを外す。
- ② エレメントを取り出し、白灯油で洗う。
- ③ エレメントをエンジンオイルに浸し固く絞る。

重要

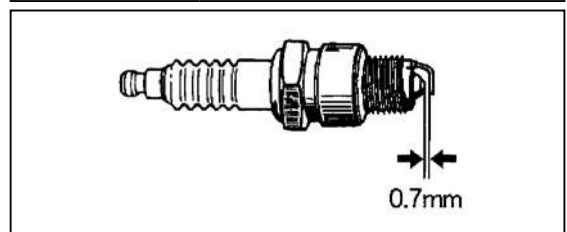
- ホコリの多い所で使用した場合は、作業後又は、10時間ごとに行なってください。そのまま使用しますとエンジン出力が低下します。



■ 点火プラグの点検と清掃

- ① プラグレンチを使い点火プラグを外します。
- ② 点火プラグがカーボンで汚れている場合には、プラグクリーナ、又はワイヤブラシで汚れを落としてください。
- ③ 電極のすき間が広いときは、0.7mmに調整してください。

使用プラグ	NGK BPR8Y
-------	-----------



長期格納

⚠ 注意

- 機械の保管中にお子さんが近よらないよう注意してください。
- 機械は火気類のないところに保管してください。
- 刃カバーを必ず取付けてください。

- ①各部に付着した泥、草のしぶなどをきれいに水で洗い落とし、そのあと水分が残らないように、ふき取ってください。
- ②機体が乾いたあと、油布で各部を手入れしてください。
- ③ミッションケースにグリースを補充し、刈刃は注油して、錆びないよう油ぶきしてください。
- ④風雨のあたらない、ごみのない乾燥した場所に保管してください。
- ⑤エンジンについては、エンジン取扱説明書をご覧ください。

不調の原因と処理

⚠ 注意

- 点検・整備は必ずエンジンを停止してから行なってください。

現 象	原 因	処 置
刈刃が作動しないでクラッチがすべる。	刈刃のすき間が少ない。	刈刃のすき間調節をする。
	刃と刃の間に泥や草のしぶが付着している。	刈刃に水を流しながら刈刃を作動させ泥などを流す。
刃と刃の間に草が、はさまる。 草が切れにくく、刈りあとがきたない。	刈刃のすき間が広い。 刈刃が摩耗している。	刈刃のすき間調節をする。 刈刃を研磨する。又は交換する。
ハンドル部分の回転が重く、あぜ面に合わせずらい。	回転支点部のごみなどはさまり	ハンドル部分の回転支点部のナットをゆるめ、ボルトの締付けで調節する。
作業中、ハンドル部分が動く。	回転支点部の摩耗	

仕 様

型	式	AT-8
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1060
	全 幅 (mm)	450
	全 高 (mm)	300
乾 燥 重 量 (kg)		7.9
有 効 刈 幅 (mm)		535
エ ン ジ ン	排 気 量 (cc)	22.5
	最大出力 {kW(PS)}	0.7 (0.95)
	燃 料	混合油 {50 : 1 (オイルFC級以上)}

オプション

この機械には次のオプションがあります。もよりの販売店・農協でお求めのうえご使用ください。

■カタカケバンド

トリマ本体をバンドで、肩に掛けて作業できます。

品 番	品 名
23113-1131-2	カタカケバンド

安全説明確認カード

説明者（販売店・農協）控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名



販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の換気と明るさに注意を払うこと。	
3. 毎日作業前にエンジンに附着したごみ・草を取除くこと。	
4. 燃料補給時の注意事項 <ul style="list-style-type: none">●必ずエンジンを停止し、冷えてから行なうこと。●火気の近くやくわエタバコでは絶対に行なわないこと。●キャップは確実に締め、こぼれた燃料はふきとること。	
5. エンジン始動時、及び回転中は刈刃に絶対触れないこと。また周囲に人を近づけないこと。	
6. 作業中は、足に刈刃が絶対触れないようじゅうぶん注意すること。	
7. 作業する場所は障害物などの危険がないか調べてから作業すること。 危険な場所での作業は絶対に行なわないこと。	
8. 刈刃に石・異物などがかんだ場合は、必ずエンジンを停止して取除くこと。	
9. 後向き作業する場合は、必ず足場を確認し、じゅうぶん注意して行なうこと。	
10. 作業中は、周囲に人を近づけないこと。特にお子さんに注意すること。	
11. 1時間以上の連続作業を行なわないこと。	
12. 機械を離れるときは必ずエンジンを停止し、冷えるまで待つこと。	

【点検・格納について】

チェック

1. 点検・整備は必ずエンジンを停止してから行なうこと。	
2. 刃物の点検・整備は厚手の革手袋を着用すること。	
3. 移動・保管時は必ず刃カバーを取付けること。	
4. 保管中はお子さんに触れさせないこと。	
5. 火気類のないところに保管すること。	

安全確認一覧表

【基本事項】

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

【作業について】

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。
3. 毎日作業前にエンジンに附着したごみ・草を取除くこと。
4. 燃料補給時の注意事項 <ul style="list-style-type: none">●必ずエンジンを停止し、冷えてから行なうこと。●火気の近くやくわえタバコでは絶対に行なわないこと。●キャップは確実に締め、こぼれた燃料はふきとること。
5. エンジン始動時、及び回転中は刈刃に絶対触れないこと。 また周囲に人を近づけないこと。
6. 作業中は、足に刈刃が絶対触れないようじゅうぶん注意すること。
7. 作業する場所は障害物などの危険がないか調べてから作業すること。 危険な場所での作業は絶対に行なわないこと。
8. 刈刃に石・異物などがかんだ場合は、必ずエンジンを停止して取除くこと。
9. 後向き作業する場合は、必ず足場を確認し、じゅうぶん注意して行なうこと。
10. 作業中は、周囲に人を近づけないこと。特にお子さんに注意すること。
11. 1時間以上の連続作業を行なわないこと。
12. 機械を離れるときは必ずエンジンを停止し、冷えるまで待つこと。

【点検・格納について】

1. 点検・整備は必ずエンジンを停止してから行なうこと。
2. 刃物の点検・整備は厚手の革手袋を着用すること。
3. 移動・保管時は必ず刃カバーを取付けること。
4. 保管中はお子さんに触れさせないこと。
5. 火気類のないところに保管すること。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区长嶺南1丁目1番10号
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 23216-5111-2